

エコ学区部門

エコ学区部門とは？

京都市では、環境にやさしいライフスタイルへの転換と温室効果ガスの排出量削減を図るため、地域ぐるみでエコ活動を推進していただく「エコ学区」を支援しています。

先進性や発展性のある主体的なエコ活動を実施された学区を表彰するエコ学区部門（「エコ学区特別推進賞」及び「エコ学区推進賞」）において、平成27年度に表彰された学区を紹介します。

なお、平成23、24年度に低炭素モデル地区「エコ学区」事業として先進的にエコ活動を展開していただいた26学区（各区役所・支所管内から1学区、山科区は全13学区。平成25年度京都市自治記念式典において表彰。）については、今回の表彰の対象から除いています。また、他の賞とは異なり、内中により対象学区を選定しています。

◆エコ学区特別推進賞◆

副賞
5万円

南太秦学区（右京区）

住民参加型の公共交通利用促進のために、モビリティ・マネジメント事業を先駆的に開始し、バスの利用を促す取組を継続された結果、バスの一日平均利用者数が増加し、「バスの駅」が設置されました。また、地元の小学校では、グリーンカーテンを設置されました。



◆エコ学区推進賞◆

※ エコ学区推進賞の写真・図はいずれもイメージです。

元町学区（北区）

学区が「エコ学区」になられたことを契機に、「元町エコの日」を定めたことで、学区全体にエコ活動を広げられました。



出水学区（上京区）

学区内の各拠点から回収した使用済てんぷら油を利用し、女性会が中心となって、小学校において石けん作りをされました。



吉田学区（左京区）

吉田山の自然を守り、里山を再生させることを目的に、学区内の様々な団体が協働して、清掃や植樹等を行う自然環境の保全活動を実施されました。



朱雀第六学区（中京区）

自治連合会が主体となり、「ごみゼロ運動」と題した二条駅一帯の一斉清掃を実施するとともに、駅周辺で行う緑化活動に取り組みられました。

